

源化の潜在的な市場に目を向けた。

同社は今年度、関東地方に循環資源の製造所を設立予定で、太平洋ベルト地帯に位置する茨城県筑西市、兵庫縣姫路市を含む4地域に再資源化拠点を構えることになった。食品廃棄物関連でも有機系の

木利用資源からエネルギーを生み出す京都府京丹後市の製造所や、全国300カ所以上の独自の再資源化ネットワークを含めた流通網を駆使することで、国内だけでなく、東アジア全体の資源循環やCO₂削減に貢献する企業を目指す。

加山興業

WFP試験プロジェクトで植林

温暖化ガス削減と食糧支援

産業中間処理業の加山興業（名古屋市中熱田区、加山昌弘社長、☎0533・89・0376／豊川営業所）はこのほど、カーボンフリーストールディング社（神奈川県横浜）と植林契約を締結し、人道支援と絡めたWFP FOOD FOR CARBON FREE PILLOT PROJECT を実施すること

For Carbon Free Pilot Project は、共同体による、乾燥し痩せた土地の開墾・植林事業を支援すること、現地の緑化を行い、土壌の改良を推進する。これにより生活に必要な食料の生産および余剰の販売を可能とし、貧困からの脱却を図り経済的な自立につなげていくことを目指している。

インドネシアは約100万人が貧困による食糧不足の状態にあり、その多くがティモール島を含む東部インドネシア地域に集中している。WFP国連世界食糧計画が進めている温暖化ガス削減のための食糧支援（Food

の種を活用するために各世帯にシャトロファ種専用調理用コンロを配布。まきの使用量を減らし、炭素吸収源となる森林資源の保全に役立てる。

WFP国連世界食糧計画は世界最大の人道支援機関で、国連唯一の食糧支援機関。すべての活動資金は寄附で賄っている。10年は73カ国で9000万人以上を支援する予定。インドネシアでも自然災害の被災者等に対し支援を行い、約85万人を目標に活動を進めている。

加山興業では引き続き環境対策を進め、同プロジェクトで貢献できる世帯数を増やしていくことで、温暖化ガス削減とともに一層の食糧支援を展開するための支援を進めていく方針だ。

前田金属

ギロチン

加工

鉄・非鉄金属スクラップを中心に事業展開する前田金属（三重県津市、前田左幸社長、☎059・234・6899）は12月16日、10月から導入を進めていたスクラップ切断設備